

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 紫雲会 特別養護老人ホーム紫雲荘
------	----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成 27 年 11 月 24 日、25 日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 紫雲会 特別養護老人ホーム紫雲荘	種 別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：理事長 麻生亮一	定員 150名
所在地：大分県豊後大野市三重町本城2050番地 TEL：0974（22）1010	

④総評

◇評価の高い点

- ・理念は「あなたの日々の暮らしの安全・安心・元気」を目に触れやすい場所に掲げ、日々のケアの中で活かされている。また、理事長は、新年の広報紙の中に「誠実・信頼・貢献」について説明をしている。又、基本方針は理念に沿って具体化され、定期的に職員会議の中で、振り返り利用者本位のサービスが提供されている。
- ・管理者は「自らの役割と責任」を職員会議や利用者会などで表明している。特に利用者や職員・家族・地域住民とのコミュニケーションの場を多くもち、困りごと相談など気軽に応じている。管理者は毎朝、全館を巡回し、一人ひとりの利用者に声かけをしながら、健康状態や意向を把握している。また、職員や利用者・家族との信頼関係を築き管理者としてのリーダーシップを発揮している。
- ・中・長期計画にサービスの質の評価として、第三者評価を2年ごとに受審しており、今回で5回目である。常に「質の向上」をめざし、全職員で取り組んでいる。
- ・平成27年度は介護保険制度の改正の時期である為、常に管理者として、いち早く事業経営を取りまく情報をキャッチし、人材の育成が行われている。当施設は資格取得者も多く、介護福祉士資格者78名 看護師9名など人材の確保も出来ている。また、ユニットケアも定着している。
- ・人材の育成として、法人内のホールにおいて、専門職の資格講座が開かれている。特に重度化に伴い、痰吸引の指導者の資格者を多く育成し、地域の研修会に於いて指導している。人材の育成として、県内外の研修会やユニットリーダー・キャリアパスリーダー・看取りケアなど、施設内外の研修にも積極的に取り組んでいる。また、高齢者や障がい者を雇用し、意向を聞きながら勤務時間や配置に考慮している。

- ・ 職員の就業状況の把握として、「疲労蓄積度表」を作成して、精神面・身体面の疲労度やハラスメントに関するアンケートを実施しており、衛生委員会が主となって集計している。必要であればカウンセリングを行っている。当施設は、永年継続者が多く、利用者との信頼関係ができている。
- ・ 利用者の安全確保やリスクマネジメント・災害対策は「安全管理委員会」が主体となって取り組んでいる。
前回の改善点を課題として、人事考課制度を導入し、人材確保が行われている。
- ・ 事業経営を取り巻く環境を的確に把握するため、経営協や社会福祉協議会と連携をとりながら、地域ニーズを把握し人材育成および環境を整備している。
- ・ 食事は常食で提供をしており、目で楽しんだあと個々の状態に応じてすり鉢を使用して形態を調整しており、経口摂取の維持に対して惜しめない努力を行っている。
- ・ 地域の活性化に向けて、食事は地元の食材を使用しており、調理の方法が分からないメニューについては、利用者から調理方法を聞き取る指導を仰ぐことで、利用者の満足度向上にもつながり、地元独自の慣れ親しんだメニューを提供することができている。
- ・ 日常の記録では、食事や排泄などサービス内容が記載できる「生活活動等個別日誌」に日々の支援が記録されており、支援の内容を記録することにより各職員の気づきにつながるような施設独自の様式となっている。
- ・ 職員のストレスへの対応として、定期的なメンタルヘルスの研修の実施や、「つかれやすいか」や「目のかすみ」などのストレスチェックのアンケートを行っており、職員が働きやすい環境を整えるための努力を行っている。
- ・ トイレでは移動式の衝立を使用して、プライバシーの保護と利用者の利用のしやすさを両立するなどの工夫をしている。オムツ外しにも取り組んでおり、150名中、92名の利用者が日中トイレによる排泄を実現しており、意欲と結びつけながらの臨床対策がなされている。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当施設では、定期的に第三者評価を受審しています。
今回の評価結果に満足することなく、今後も福祉サービスの向上と充実に向け職員全員で取り組んでいきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）